

様式第15号の2(第2条関係)(用紙 日本工業規格A4縦型)

地域医療支援病院業務報告書

富地医第9号

平成24年10月5日

静岡県知事 川勝 平太 様

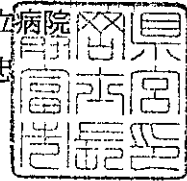
住所(所在地) 静岡県富士宮市錦町3番1号

名称

富士宮市立病院

代表者の氏名

須藤 秀忠



平成23年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称 富士宮市立病院
- 2 開設の場所 富士宮市錦町3番1号
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	67.1%	算定期間	平成23年4月1日 ～平成24年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	39.4%		
算定根拠	A : 紹介患者の数		6,993人
	B : 救急入院初診患者の数		1,185人
	C : 初診患者の数		13,760人
	D : 休日夜間救急初診患者の数		1,564人
他の病院又は診療所に紹介した患者の数			4,808人

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和を、(C-D)で除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に、「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること

## 平成23年度紹介率（地域医療支援病院の算定による試算）

●承認条件（医療法第4条関係）

- ① 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し、医療を提供する地域医療支援病院紹介率が80%以上であること。
- ② 地域医療支援病院紹介率が60%を上回り、かつ、逆紹介率が30%を上回ること。
- ③ 地域医療支援病院紹介率が40%を上回り、かつ、逆紹介率が60%を上回ること。

紹介率＝（紹介患者の数＋救急入院初診患者数）÷〔初診患者の数－休日・夜間受診の救急初診患者の数（救急入院初診患者を除く）〕

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介患者の数 A	496	516	672	632	611	616	595	581	543	550	580	601	6,993
救急入院初診患者数 B	76	99	93	107	94	104	98	101	103	112	92	106	1,185
計A+B C	572	615	765	739	705	720	693	682	646	662	672	707	8,178
初診患者の数 D	971	1,090	1,222	1,210	1,302	1,213	1,161	1,150	1,078	1,098	1,132	1,133	13,760
休日・夜間受診の救急初診患者の数 E	115	139	119	127	149	145	101	145	136	138	129	121	1,564
初診計D-E F	856	951	1,103	1,083	1,153	1,068	1,060	1,005	942	960	1,003	1,012	12,196
紹介率 % C/F	66.8%	64.7%	69.4%	68.2%	61.1%	67.4%	65.4%	67.9%	68.6%	69.0%	67.0%	69.9%	67.1%

逆紹介率＝逆紹介患者の数÷〔初診患者の数－休日・夜間受診の救急初診患者の数（救急入院初診患者を除く）〕

逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介患者数 G	310	282	336	324	426	398	447	425	409	375	443	404	4,579
地域連携診療計画管理料算定 H	19	17	13	17	15	18	29	25	12	24	21	19	229
計G+H I	329	299	349	341	441	416	476	450	421	399	464	423	4,808
初診患者の数 F	856	951	1,103	1,083	1,153	1,068	1,060	1,005	942	960	1,003	1,012	12,196
逆紹介率 % I/F	38.4%	31.4%	31.6%	31.5%	38.2%	39.0%	44.9%	44.8%	44.7%	41.6%	46.3%	41.8%	39.4%

#### 4 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実態

##### (1) 共同利用の実績

開業医・他病院より高度医療機器等の依頼件数	
平成23年4月1日～平成24年3月31日	844件
※上記件数は開設者と直接関係ない医療機関の数である。	

病床利用率	
平成23年4月1日～平成24年3月31日	80.6%

##### (2) 共同利用の範囲等

放射線科 全身用マルチスライスCT（64列CT） 磁気共鳴断層撮影装置（MRI） 核医学検査装置（RI）
内視鏡検査装置
共同利用病床（10床）
図書室

##### (3) 登録医療機関の名簿

別紙のとおり(4-1)
-------------

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

## 登録医療機関の名簿(4-1)

NO	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
1	青木クリニック	青木 秀夫	富士宮市内房3215-5	内科	無
2	朝霧高原診療所	山本 竜隆	富士宮市猪之頭1772-2	内科	無
3	あしざわ医院	芦澤 厚志	富士宮市弓沢町133	循環器科・内科	無
4	阿南胃腸科外科	阿南 晃	富士宮市小泉2145-7	胃腸科・外科	無
5	安藤眼科医院	安藤 俊美	富士宮市神田川町5-11	眼科	無
6	池田医院	池田雅一	富士宮市淀師1455	耳鼻咽喉科	無
7	池田クリニック	池田 祐司	富士宮市下条148-1	内科・胃腸科	無
8	池谷皮膚科医院	池谷 精司	富士宮市中央町4-11	皮膚科	無
9	いしかわ皮膚科	石川 高康	富士宮市北町6-21	皮膚科	無
10	市川胃腸科皮膚科医院	市川 靖一	富士宮市光町13-12	胃腸科・皮膚科	無
11	浦野内科クリニック	浦野 芳治	富士宮市中原町218	内科	無
12	おいかわクリニック	及川 博	富士宮市小泉1975-19	消化器内科・内視鏡内科・肛門外科・外科	無
13	大木医院	大木 肇	富士宮市宮町3-3	内科	無
14	大宮望月クリニック	望月 孝典	富士宮市大宮町18-22	内科・消化器内科	無
15	岡村医院	岡村 文夫	富士宮市淀平町369-1	内科	無
16	小田部産婦人科医院	小田部 淳	富士宮市ひばりが丘166	産婦人科	無
17	片桐整形外科	片桐 耿	富士宮市西町26-9	整形外科	無
18	加藤脳神経外科	加藤 康雄	富士宮市三園平668-2	脳神経外科	無
19	北川内科医院	北川 安男	富士宮市光町10-15	内科	無
20	北山医院	高橋 敏信	富士宮市北山2695-2	胃腸科・外科	無
21	協愛医院	佐野 眞一	富士宮市宮町8-7	耳鼻咽喉科	無
22	小久保皮膚科・泌尿器科医院	小久保 一也	富士宮市貴船町8-22	皮膚科・泌尿器科	無
23	後藤外科医院	後藤 慎介	富士宮市東町9-1	外科	無
24	さいとう眼科医院	齋藤 憲	富士宮市西小泉30-3	眼科	無
25	桜田医院	桜田 勝美	富士宮市大久保14-1	内科・小児科・麻酔科	無
26	指出泌尿器科	指出 昌秀	富士宮市朝日町9-5	泌尿器科・人工透析	無
27	さとうクリニック	佐藤 顕彦	富士宮市中央町12-3	脳神経外科	無
28	佐藤内科医院	佐藤周三	富士宮市羽鋸583	内科	無
29	佐野医院	佐野 弥文次	富士宮市小泉2186-5	内科	無
30	佐野記念クリニック	熊木 倫彦	富士宮市宮町13-30	内科・外科	無
31	佐野内科クリニック	佐野 聡	富士宮市田中町185-6	内科・消化器科・呼吸器科・リウマチ科・小児科	無
32	シモタクリニック	霜多 広	富士宮市前田町137-5	呼吸器外科・乳腺外科・外科・内科	無
33	関医院	関 泰	富士宮市万野原新田3107-1	外科・消化器科・内科	無
34	竹川医院	竹川 康	富士宮市上井出106	小児科・内科	無
35	田中医院	田中 洋介	富士宮市舞々木町711-2	内科・胃腸科・外科・肛門科	無
36	谷口小児科医院	谷口 和夫	富士宮市小泉1115-5	小児科	無
37	谷口内科クリニック	谷口 幹太	富士宮市矢立町910-4	内科・糖尿病内科	無
38	天神眼科医院	天神 光充	富士宮市若の宮町335	眼科	無
39	天神産婦人科医院	天神 弘尊	富士宮市若の宮町398	産婦人科	無
40	天神整形外科医院	天神 宏純	富士宮市若の宮町398	整形外科	無
41	東静岡脳神経センター	土居 一丞	富士宮市西小泉14-9	脳神経内科・内科・リハビリテーション科	無
42	戸田眼科医院	戸田 義喜	富士宮市官原128-1	眼科	無
43	戸塚内科クリニック	戸塚 盛計	富士宮市中央町11-11	内科	無
44	ないとう整形外科クリニック	内藤 健一	富士宮市西小泉町31-6	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
45	なかがわ眼科	中川 里佳	富士宮市大岩275-1	眼科	無
46	永松医院	永松 清明	富士宮市東町26-8	内科・精神科	無
47	南陽堂内科循環器科クリニック	佐野 壮一	富士宮市穂波町12-8	内科・循環器科	無
48	西原内科循環器科医院	西原 健二	富士宮市東町10-4	内科・循環器科	無
49	原医院	原 太平	富士宮市山宮959-5	肛門科・外科・胃腸科・内科	無
50	坂東レディースクリニック	坂東 尚	富士宮市杉田1016-7	産婦人科	無

登録医療機関の名簿(4-1)

NO	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
51	平野整形外科	平野 忠	富士宮市ひばりが丘650	整形外科	無
52	ヒロクリニック	甘楽 通徳	富士宮市万野原新田3923-2	内科	無
53	富士宮中央クリニック	淵本 晃司	富士宮市宮原88-6	内科・外科・循環器科・消化器内科・リハビリテーション科	無
54	牧野医院	牧野 政博	富士宮市西小泉町50-11	耳鼻咽喉科	無
55	町田皮膚科クリニック	町田 秀樹	富士宮市小泉1975-24	皮膚科	無
56	松本整形外科医院	松本 安司	富士宮市西町8-8	整形外科	無
57	三浦医院	三浦 護之	富士宮市淀川町29-11	胃腸科・外科・内科・小児科	無
58	みみ・はな・のど神田川クリニック	島尻 英樹	富士宮市神田川町12-6	耳鼻咽喉科	無
59	望月医院	望月 信幸	富士宮市元城町20-1	小児科・内科	無
60	森岡内科医院	森岡 明	富士宮市野中東町246	内科	無
61	安田医院	安田 善典	富士宮市小泉423-3	内科・小児科	無
62	山口医院	山口 安三	富士宮市黒田215-9	泌尿器科・内科・皮膚科・性感染症内科・血液透析	無
63	吉見内科クリニック	小松 勝利	富士宮市万野原新田3162-3	内科	無
64	米永医院	米永 俊一郎	富士宮市北町7-5	内科・神経内科・膠原病内科・心療内科・和漢薬科	無
65	米山クリニック耳鼻咽喉科	米山 秀彦	富士宮市中原町145	耳鼻咽喉科	無
66	渡辺クリニック	渡辺 政信	富士宮市三園平488-2	内科・泌尿器科	無
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					

平成23年度高度医療機器の共同利用

予約種別	件数
CT	367
MR I	192
R I	21
エコー	37
その他	22
骨盤計測	184
内視鏡	21
総計	844

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	3,038人
上記以外の救急患者の数	4,649人
合計	7,687人 (3,062人)

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----



6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙のとおり(6-1)
-------------

(2) 研修の実績

研修者数	3,450人
------	--------

※前年度の研修生の実数を記入すること

(3) 研修の体制

①研修プログラムの有無  有 : 無

②研修委員会設置の有無  有 . 無

③研修指導者

別紙のとおり(6-2)
-------------

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	107.08 m <sup>2</sup>	(主な設備) パソコン、プロジェクター
南棟第1会議室	101.68 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、マイク設備一式
南棟第2会議室	101.68 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、マイク設備一式
図書室	99.51 m <sup>2</sup>	(主な設備) インターネットパソコン
2階病棟カンファレンスルーム	15.84 m <sup>2</sup>	(主な設備)
3階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
3階B病棟カンファレンスルーム	10.44 m <sup>2</sup>	(主な設備)
4階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
4階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	(主な設備)
5階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
5階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	(主な設備)

## 平成 23 年度において実施した研修会・講演会など(6-1)

### 市民健康講座

#### 第1回

開催日：平成 23 年 5 月 20 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：77 人  
テーマ：脳卒中と生活習慣      脳神経外科 千村 学

#### 第2回

開催日：平成 23 年 7 月 8 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：100 人  
テーマ：在宅におけるやさしいお肌のお手入れ方法      看護部 伊藤 あづさ・長谷川 妙子

#### 第3回

開催日：平成 23 年 8 月 5 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：322 人  
テーマ：足のしびれと痛み 腰部脊柱管狭窄症      整形外科 藤田 倫匡

#### 第4回

開催日：平成 23 年 9 月 9 日(土)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：156 人  
テーマ：心筋梗塞と狭心症      循環器科 川口 由高

#### 第5回

開催日：平成 23 年 11 月 19 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：53 人  
テーマ：尿路結石      泌尿器科 海野 智之

#### 第6回

開催日：平成 24 年 1 月 21 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：53 人  
テーマ：胃がん      外科 川辺 昭浩

#### 第7回

開催日：平成 24 年 3 月 18 日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：当院  
参加人数：46 人  
テーマ：慢性肝炎      内科 鏡 卓馬

## 医師・医療従事者向けカンファレンス開催実績

### 富士宮ハートカンファレンス

#### 第19回

開催日：平成23年6月8日(水)

対象：市内開業医

症例呈示：心カテ中に無脈性心室頻拍となり、経皮的心肺補助循環装置下の経皮的冠動脈インターベンションにて救命しえた急性心筋梗塞の1例

富士宮市立病院 杉山 博文 先生

心アミロイドーシスにより心不全を呈した中年男性の1例

富士宮市立病院 佐藤 亮太 先生

レクチャー：学校心臓検診のポイント

谷口小児科医院 谷口 和夫 先生

開催場所：当院

参加人数：14人

#### 第20回

開催日：平成23年12月14日(水)

対象：市内開業医

症例呈示：ホルター心電図が診断に有効であった4例

富士宮中央クリニック 澁本 晃司

難治性の心室性不整脈を合併した左主幹部の急性心筋梗塞の1例

富士宮市立病院 佐藤 亮太 先生

冠動脈バイパス術後の静脈グラフトにPCIを施行した不安定狭心症の1例

富士宮市立病院 佐藤 亮太 先生

開催場所：当院

参加人数：15人

### 富士宮消化器病研究会

#### 第54回

開催日：平成23年4月20日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：約30人

テーマ：症例検討会

#### 第55回

開催日：平成23年7月20日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：約30人

テーマ：症例検討会

#### 第56回

開催日：平成23年10月12日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：約30人

テーマ：症例検討会

#### 第57回

開催日：平成24年1月25日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：約30人

テーマ：症例検討会

## 総合診療カンファレンス

### 第53回

開催日：平成23年5月17日(火)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：90人  
テーマ：救急レクチャー「災害医療」  
東日本大震災派遣報告  
富士宮市消防本部中央消防署 石川博道・太田寿久  
静岡県東部を震源とする地震(3/15)における当院の対応(アンケート調査結果)  
富士宮市立病院 小宮山明

### 第54回

開催日：平成23年5月25日(水)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：47人  
テーマ：CPC(臨床病理検討会)  
摂食量の低下から急速にショック状態となり、その後多量胃管廃液を認め救急搬送された、長期療養中の重症脳性麻痺患者  
静岡藤病院 安田寛二  
富士宮市立病院 小宮山明、榎間昌哲、村松克晃、谷伸也、甲賀淳史

### 第55回

開催日：平成23年6月14日(火)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：28人  
テーマ：救急症例検討会

### 第56回

開催日：平成23年6月30日(木)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：46人  
テーマ：疼痛緩和セミナー 富士宮市立病院 岡本和哉

### 第57回

開催日：平成23年7月4日(月)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：44人  
テーマ：疾患と対策「妊娠にともなうアクシデント」 富士宮市立病院 矢田大輔

### 第58回

開催日：平成23年7月12日(火)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：20人  
テーマ：研修終了報告会 富士宮市立病院 津久井宏恵

### 第59回

開催日：平成23年7月28日(木)  
対象：市内開業医・院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：21人  
テーマ：CPC(臨床病理検討会)  
呼吸不全の原因として肺炎に伴うARDSが疑われた感染性心膜炎術後の50代男性患者の1例  
富士宮市立病院 小宮山明、若原伸行、村松克晃、片山順平

第60回

開催日：平成23年10月3日(月)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：38人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）

突発性血小板減少性紫斑病に対してステロイド内服治療中に、心窩部痛・嘔気を認め、その後、呼吸不全にて死亡した80代男性症例

富士宮市立病院 奥谷敬文、北島和登、向後秀俊、小宮山明、鈴木憲次

第61回

開催日：平成23年10月11日(火)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：24人

テーマ：水・電解質輸液と脱水 大塚製薬 畔柳氏

第62回

開催日：平成23年11月8日(火)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：37人

テーマ：疼痛緩和セミナー「呼吸困難の対処法」 富士宮市立病院 奥谷敬文

第63回

開催日：平成23年11月6日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：32人

テーマ：疾患と対策「心不全」 大塚製薬 畔柳氏

第64回

開催日：平成23年11月30日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：31人

テーマ：疾患と対策「糖尿病 update」 吉見内科クリニック 小澤恵

第65回

開催日：平成23年12月20日(火)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：66人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）

両下肢痛で発症後、上行性に筋力低下し、呼吸苦を訴え死亡した50代男性

富士宮市立病院 榎間昌哲、佐藤太一、村松克晃、小宮山明

第66回

開催日：平成23年12月21日(水)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：29人

テーマ：救急症例検討会

第67回

開催日：平成24年1月17日(火)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：55人

テーマ：心肺蘇生法プロトコールと救急隊搬送症例検討

第68回

開催日：平成24年2月2日(木)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：19人

テーマ：薬剤レクチャー「漢方概論と頻用処方解説」 ツムラ 岩井氏

第69回

開催日：平成24年2月14日(火)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：37人

テーマ：疾患と対策「耳鼻科の common disease」 富士宮市立病院 橋本亜矢子

第70回

開催日：平成24年2月24日(金)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：46人

テーマ：手術手技「放射線治療」 浜松医科大学放射線科 鈴木一徳

第71回

開催日：平成24年3月5日(月)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：28人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）

「重症急性膵炎・多臓器不全の加療中に痙攣、意識障害、片麻痺を発症した40歳代男性

富士宮市立病院 榎間昌哲、村松克晃、小宮山明、林泰壽

浜松医科大学第一内科 谷伸也

第72回

開催日：平成24年3月8日(木)

対象：市内開業医・院内職員

開催場所：当院

参加人数：19人

テーマ：疼痛緩和セミナー「緩和医療におけるコミュニケーション」

富士宮市立病院 緩和ケア認定看護師

総合診療ミニレクチャー

第49回

開催日：平成23年5月20日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：3人

テーマ：カンファレンス方式によるプレゼンテーションの実践講座 Part3 7まとめの言葉、8プ

ロプレミアムリスト、アセスメント・プラン

第50回

開催日：平成23年5月27日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：4人

テーマ：診療手技「皮膚・排泄ケア」

第51回

開催日：平成23年6月17日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：13人

テーマ：診療手技「患者の介助・搬送法」 富士宮市立病院 幸坂真宏

第52回

開催日：平成23年7月8日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：5人

テーマ：組織病理レクチャー「子宮体部」 富士宮市立病院 小宮山明

第53回

開催日：平成23年10月14日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：10人

テーマ：診療手技「内科の輸血計画法」 富士宮市立病院 川勝祐太郎

第54回

開催日：平成23年10月26日(水)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：7人

テーマ：ジャーナルクラブ

第55回

開催日：平成23年10月28日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：8人

テーマ：診療手技「救急外来での整形外科的処置」 富士宮市立病院 宮本繁之

第56回

開催日：平成23年11月1日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：11人

テーマ：検査「心電図演習」 富士宮市立病院 杉山博文

第57回

開催日：平成23年11月18日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：9人

テーマ：救急レクチャー「トリアージ」 富士宮市立病院 奥村拓也

第58回

開催日：平成23年11月30日(水)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：7人

テーマ：ジャーナルクラブ

第59回

開催日：平成23年12月9日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：9人

テーマ：組織病理レクチャー「胃」

第60回

開催日：平成23年12月21日(火)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：7人

テーマ：ジャーナルクラブ

第61回

開催日：平成24年1月13日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：9人

テーマ：診療手技「皮膚科の創傷処置」 富士宮市立病院 島田信一郎

第62回

開催日：平成24年1月18日(水)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：7人

テーマ：ジャーナルクラブ

第63回

開催日：平成24年1月27日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：15人

テーマ：検査「骨髄穿刺」 富士宮市立病院 井川千春

第64回

開催日：平成24年2月3日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：19人

テーマ：検査「血液ガス検査」 富士宮市立病院 北島和登

第65回

開催日：平成24年2月15日(水)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：5人

テーマ：ジャーナルクラブ

第66回

開催日：平成24年2月17日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：10人

テーマ：診療手技「急性腹症」 富士宮市立病院 高野亮祐

第67回

開催日：平成24年3月2日(金)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：12人

テーマ：がん化学療法と看護 富士宮市立病院 武部千恵美

第68回

開催日：平成24年3月21日(水)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：3人

テーマ：ジャーナルクラブ



## 医療安全シンポジウム

開催日:平成23年7月22日(金)

対象:院内全職員

開催場所:当院

参加人数:299人

テーマ:「誤認事故防止“各部署の確認方法を知ろう”」

「平成22年度 医療安全管理活動報告」

「自部署の確認方法」

講師:石川弥生、玉田宏一、鈴木良美、青木洋史、渡邊京子

## 医療安全講演会

開催日:平成23年11月15日(火)

対象:院内全職員

開催場所:当院

参加人数:244人

テーマ:「ヒューマンエラー防止への工学的アプローチ」

講師:中央大学理工学部 経営システム工学科教授 中條武志先生

## 富士宮市立病院集談会

### 第4回

開催日:平成23年12月1日(木)

対象:院内外医療職員

開催場所:当院

参加人数:134人

- 演題:
- 1 支払督促制度を活用した未収金回収  
当院事務部 医事課 佐野和之
  - 2 ステレオ式脳内血腫吸引術における山川式固定プレートの開発とその効果  
当院診療部 脳神経外科 高橋宏史 千村学  
当院看護部 4A病棟 佐野真澄 当院事務部 中央監視室 山川洋
  - 3 バンコマイシンのTDM(薬物治療モニタリング)  
当院薬剤部 吉岡雅代
  - 4 患者にわかるクリティカルパスオリエンテーション  
当院看護部 2階病棟 杉山亜純
  - 5 NICUにおける感染対策  
当院看護部 3B病棟 幡谷ゆり子
  - 6 皮膚・排泄ケア認定看護師の活動の実際と今後の課題  
当院看護部 外来 伊藤あづさ
  - 7 患者さんも介助者も安心・安楽な介助法の検討  
当院診療技術部 リハビリテーション科 幸坂真宏
  - 8 当院における緊急輸血について  
当院診療技術部 臨床検査科 落合廣己
  - 9 二核種同時収集におけるクロストークの影響  
当院診療技術部 中央放射線科 小林邦和・木内浩

## 診療技術部集談会

### 第20回

開催日:平成23年6月3日(金)

対象:院内外医療職員

開催場所:当院

参加人数:45人

- 演 題：1 合併症をもつ患者への作業療法  
          当院診療技術部 リハビリテーション科 櫻井由実
- 2 腿骨頸部骨折地域連携パスにおけるリハビリテーション科の取り組み  
          当院診療技術部 リハビリテーション科 若林美佳
- 3 二核種同時収集におけるクロストークの影響  
          当院診療技術部 中央放射線科 小林邦和
- 4 CDトキシン迅速検査とC. difficile 培養検査の比較検討  
          当院診療技術部 臨床検査科 原祐子

### 医療機器研修会

開催日：平成23年5月27日(金)・平成23年5月30日(月)  
対 象：全職員  
開催場所：当院 南棟4F  
参加人数：257人  
テ ー マ：輸液ポンプの取り扱いについて

### おくすり勉強会

開催日：平成23年8月31日(水)  
対 象：院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：30人  
テ ー マ：高血圧  
講 師：薬剤部 小林豊

開催日：平成23年10月12日(水)  
対 象：院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：15人  
テ ー マ：バンコマイシンとTDM  
講 師：薬剤部 吉岡雅代

開催日：平成23年11月28日(月)  
対 象：院内職員  
開催場所：当院  
参加人数：30人  
テ ー マ：糖尿病治療薬  
講 師：薬剤部 鈴木豊秀

### 平成23年度中央放射線科勉強会

#### 第1回

開催日：平成23年4月25日(月)  
対 象：市内診療放射線技師・医師・看護師等  
開催場所：当院  
参加人数：25人  
テ ー マ：放射線科の造影剤使用状況と副作用について  
          当院診療放射線技師 深澤 英史  
          造影剤イオプロミドについて  
          富士フィルムR I ファーマ株式会社 鶴田 竜洋  
          CT被ばく、CTDI・DLPと実際の患者被ばくについて  
          当院診療放射線技師 鈴木 達人

## 富士宮市立病院診療放射線技師勉強会

### 第4回

開催日：平成23年5月12日(木)  
対象：市内診療放射線技師・医師等  
開催場所：当院  
参加人数：17人

テーマ：二核種同時収集におけるクロストークの影響  
当院診療放射線技師 小林 邦和  
CT画像症例検討会  
当院診療放射線技師 鈴木 達人

### 第5回

(副作用を含めた放射線療法・化学療法の推進に関する研修)

開催日：平成23年8月4日(木)  
対象：市内診療放射線技師・医師・薬剤師・看護師等  
開催場所：当院  
参加人数：30人

テーマ：抗がん剤治療に伴う有害反応対策について  
日本化薬株式会社 杉浦 卓哉  
放射線の人体に与える影響  
当院診療放射線技師 第1種放射線取扱主任者 酒井 洋和  
日本超音波医学会 第84回学術集会参加報告  
当院診療放射線技師 玉田 宏一  
第36回超音波検査学会参加報告  
当院診療放射線技師 木内 浩  
胃透視基準撮影法について  
当院診療放射線技師 増田 淳

### 第6回

開催日：平成24年3月8日(木)  
対象：市内診療放射線技師・医師等  
開催場所：当院  
参加人数：26人

テーマ：抗悪性腫瘍用剤ミリプラ動注70mgについて  
大日本住友製薬株式会社 永沼 克彦  
ガイドラインGuLACTICを参考とした当院での頭部CTマニュアル  
当院診療放射線技師 鈴木 達人  
第10回CTテクノロジーフォーラム参加報告  
当院診療放射線技師 鈴木 達人  
放射線障害防止法に係る定期講習  
当院診療放射線技師 第1種放射線取扱主任者 酒井 洋和

## 摂食嚥下リハビリテーション勉強会

### 第1回

開催日：平成23年7月5日(火)  
対象：院内医療職員  
開催場所：当院  
参加人数：74人  
テーマ：摂食嚥下について  
講師等：当院耳鼻咽喉科 科長 足守直樹

### 第2回

開催日：平成23年11月21日(月)

対象：院内医療職員

開催場所：当院

参加人数：35人

テーマ：「摂食・嚥下訓練の実際」

- ・アイスマッサージの具体的な方法

- ・摂食嚥下障害を持つ患者に、安全に食事をしてもらう為の、直接訓練の訓練方法や注意点について

講師等：当院診療技術部 リハビリテーション科 清紹代

### 第3回

開催日：平成24年3月23日(金)

対象：院内医療職員

開催場所：当院

参加人数：32人

テーマ：口から食べるためのお助け食品について

講師等：当院栄養科 科長 鈴木初音

### 褥瘡対策実践委員会

開催日：平成23年11月17日(木)

対象：院内職員

開催場所：当院

参加人数：46人

テーマ：活動報告・褥瘡処置について  
エビデンスに基づく褥瘡診療

講師等：当院皮膚科医師・当院看護師

開催日：平成24年3月23日(金)

対象：院内外

開催場所：当院

参加人数：53人

テーマ：在宅褥瘡ケア勉強会  
在宅における褥瘡予防・褥瘡処置方法

講師等：当院皮膚科医師・当院看護師

### 緩和ケア講演会

開催日：平成24年2月4日(土)

対象：院内外

開催場所：当院

参加人数：74人

テーマ：「どんな私たちであれば良い援助者になれるのか？」

講師等：めぐみ在宅クリニック 小澤 竹俊 先生

### 緩和ケア研修会

開催日：平成23年11月12日(土)

対象：院内外

開催場所：当院

参加人数：37人

テーマ：「ストレスケアとサイモンソン療法」

講師等：滋賀医科大学家庭医療学講座 田村祐樹准教授

開催日：平成24年3月3日(土)・平成24年3月4日(日)

対象：院内外

開催場所：当院

参加人数：30人

テーマ：「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」

## ③研修指導者(6-2)

平成23年4月1日現在

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
米村 克彦	医師	内科	院長兼 医療安全管理室長	32年	日本内科学会認定専門医 日本腎臓学会指導医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門認定医 日本アフェレシス学会認定専門医
小宮山 明	医師	病理科	診療部長兼 病理科科長	28年	日本病理学会専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医
高橋 宏史	医師	脳神経外科	診療部長兼 脳神経外科科長	25年	日本脳神経外科学会専門医
川辺 昭浩	医師	外科	診療部長兼 外科科長	25年	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本がん治療認定医 日本消化器がん外科治療認定医
増田 光司	医師	眼科	眼科科長	24年	日本眼科学会専門医
鈴木 憲次	医師	外科	外科科長兼 医局長	23年	日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医
深澤 ちえみ	医師	小児科	小児科科長	23年	日本小児科学会専門医
山下 公裕	医師	外科	外科科長	20年	日本外科学会専門医
岡本 和哉	医師	外科	外科科長	20年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医
奥村 拓也	医師	外科	外科科長	19年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医 日本消化器内視鏡学会認定医 日本消化器病学会認定医
若原 伸行	医師	循環器科	循環器科科長	18年	日本内科学会認定専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
足守 直樹	医師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科科長	18年	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医
糟谷 琢映	医師	麻酔科	麻酔科科長	18年	日本麻酔科学会指導医 日本麻酔科学会専門医
海野 智之	医師	泌尿器科	泌尿器科科長	18年	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門認定医
土井 貴之	医師	産婦人科	産婦人科科長	16年	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
矢島 澄鎮	医師	外科	外科科長	15年	日本呼吸器外科専門医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医 日本禁煙学会認定指導医
向後 秀俊	医師	放射線科	放射線科科長	15年	日本放射線学会専門医 放射線科専門医研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川口 由高	医師	循環器科	循環器科科長	14 年	日本内科学会認定専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
藤田 倫匡	医師	整形外科	整形外科科長	14 年	日本整形外科学会運動期リハビリテーション医認定医
奥谷 敬文	医師	内科	内科科長	13 年	日本内科学会認定専門医
船橋 伸司	医師	整形外科	整形外科科長	11 年	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医
望月 美奈	医師	眼科	眼科科長	11 年	日本眼科学会専門医
村松 克晃	医師	放射線科	放射線科科長	11 年	日本放射線学会診断専門医 PET核医学認定医 日本核医学会専門医
石井 康博	医師	麻酔科	麻酔科科長	11 年	日本麻酔科学会認定医

7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長
管理担当者氏名	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長

	管理部署	分類方法
診療に関する諸記録 診療録、手術記録、麻酔記録、各種検査記録、検査成績書、医用画像、助産記録、看護記録、その他、診療の過程での患者の身体状況、症状等について作成、記録された書面、画像等	診療情報管理室	患者IDごとにカルテ室管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室 暦年分類
	救急医療の提供実績	医事課 暦年分類
	地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実施	病院管理課 暦年分類
	閲覧実績	医事課 暦年分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室 暦年分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長
閲覧担当者	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長
閲覧の求めに応じる場所	医事課 応接室

前年度の総閲覧件数（診療録等）	36件
-----------------	-----



## 9 委員会の開催の実績

### 平成 23 年度第 1 回地域医療連携推進委員会議事録

開催日時 平成 24 年 3 月 12 日 (月)

午後 6 時 55 分～午後 8 時 05 分

開催場所 南棟第 1 会議室

#### 出席者

院長 高橋連携室長 事務部長  
阿南副会長 蕪木副会長 西原理事  
奈良富士保健所長 田中保健福祉部長  
事務局高橋弘典

#### 事務局

- ・配布資料の確認 (9 ページの構成のレジメ一部)
- ・設置要領第 4 条の確認。昨年度開催した際には、当院院長を委員長 (議長) として進行させてもらいましたが、承認申請の手続きを進めていく中で、支援病院の職員が委員長となるのはよろしくないとの話があり、医師会の代表を委員長とすることにさせていただきました。
- ・峡南地区代表であります、樋口委員は本日急遽会議のため欠席との連絡を受けています。

#### 地域医療支援病院米村院長より挨拶

- ・昨年 9 月末に当院が地域医療支援病院に承認されました。医師会の先生方、保健所長等、皆様にご理解ご協力いただいたことに感謝申し上げます。  
それではよろしく申し上げます。

#### 阿南委員長より開会

- ・地域医療支援病院に承認されたことで、地域医療に関わる体制が整備されたということになると思います。平成 12 年、医師会の病診連携を始めたときに比べて、紹介・逆紹介等の数字も統計で見ると増加しており、大変良いことだと思います。今日はそのような結果に基づいて、地域医療支援病院のあり方を含め、委員の皆様のご忌憚のない意見交換をさせていただくことが今後の地域医療の発展につながると思います。

活発な意見をお願いします。

次第に沿って進めて生きたいと思っております。

#### (1) 地域医療支援病院承認について

##### 事務局

平成 23 年 3 月 3 日 (平成 22 年度) に初めてこの委員会を開催させていただきました。

それ以前に平成 12 年から富士宮市医師会とは地域医療連携運営委員会を毎年開催して現在に至っています。平成 23 年 7 月 13 日に富士地域医療協議会で同意され、9 月の静岡県医療審議会でも審議され 9 月 29 日付承認となりました。

今後は年 1 回の業務報告をしていくこととなりますが、今まで以上に連携を強めていくために事務局として取り組んでいきたいと思っております。

#### (2) 市立病院の病診連携の現状について

資料にそって説明 (資料 1 ページ・2 ページ)

1 ページは平成 22 年度の実績となります。2 ページは今年度の実績であります。平成 23 年 3 月か

ら外科・整形外科で紹介制となったこともあり、初診患者が減少していることから、昨年度に比べ紹介率が上がっているものだと推測できます。

(資料3 ページ・4 ページ)

各地域(富士宮地区・富士地区・峡南地区)の消防本部からの資料となっています。各地域の救急搬送全件数のうち当院への搬送件数を表とグラフで表しました。

(資料5 ページ)

平成20年度からの共同利用実績についてですが、平成20年度までは、700件から850件くらいに留まっていたのですが、平成21年以降1,000件を超える実績となっておりニーズの高さを感じています。

(資料6 ページ)

平成22年度入院・外来患者延べ数を表しています。以上事務局からの報告とします。

阿南委員長

ここまでで質問がありますか。

西原委員

6ページの資料入院患者延べ数とは350床かける30倍がピークという計算でよいでしょうか。

米村委員

病床利用率が現在80%くらいとなっており、月に8,000人前後という人数になっています。

(3)意見交換

米村委員

画像を持って紹介受診する際、今まではフィルムを持ってくるか、逆紹介する際はフィルムを持っていってもらう必要があったが、今後は全てCD画像データでの提供となることについて伺いたい。

蕪木委員

画像でもらうことに問題はない。

西原委員

先日、救急患者の市立病院側の対応、報告書等に対するアンケートを医師会で行った結果について話をさせていただきます。

- ・市立病院に救急搬送された外傷患者さんが、翌日開業医に受診し紹介状を持ってくるようにと言われた。開業医の整形外科医師よりも市立病院の救急で診た医師のほうが症状等についてわかるのではないかと。

米村委員

- ・院内紹介状があるため、科によっては救急受診後の次回予約を取っている科もある。今回の話しのようなことがないように、救急科で院内紹介状を記載し、できれば予約まで取って帰宅できるように医局会で周知します。

西原委員

- ・市立病院職員が捻挫し、市立病院整形外科に受診したいため、開業医に受診し紹介状を書いてほしいということがあった。

米村委員

- ・この職員が気を使ったと思うが、市民の方は紹介状なしでは診てもらえないため、職員であっても紹介制を重視して受診したことかと思えます。このことについては受診する職員の個人的な問題となるかと思えます。

西原委員

- ・前者の救急受診後の開業医受診についてはどうですか。

米村委員

- ・前者の件については病院のシステムの問題となるため、院内紹介状を書いてもらうように周知します。

西原委員

- ・紹介患者の救急受診を電話でお願いする際に、科名と氏名を必ず言っていただきたい。  
日中は電話交換手のほうで何科の誰につながりますということを取り次いでもらうが、電話に出る医師は科名、氏名を言わない医師がおり、横柄な医師もいる。

高橋委員

- ・一部の社会的常識の欠如によるものと思われませんが、医局会で話をします。

西原委員

- ・市立病院への紹介先の担当が違うということで文句を言う先生や、専門外であるためポイントがずれた際には現場で臨機応変に対応してもらえないか。科が違うということであれば何科につながればよいかははっきり申していただきたい。

米村委員

- ・いつも看護師に話をするが、電話で話を聞いただけでは、重症または軽症については判断が難しい。

西原委員

- ・何科に受診するのがわからない場合などはファーストタッチの先生が必ず診てもらうということや、診療部長が何科でお願いします、と決定することは難しいか。

阿南委員長

- ・特に1年目から3年目くらいの若い医師だとは思いますが、できるだけ他の科で診てもらおうという意識が感じられる。できる限り救急の患者さんについては一つ返事で受けてもらいたいです。

米村委員

- ・開業医の先生から、救急隊からの救急受診については断らないことが当たり前なので、ファーストタッチで診ていくように話をします。

高橋委員

- ・救急隊にもお願いしてありますが、トリアージをするのは医師ではなく救急隊であるため、救急隊が2次救と判断した場合はすぐに搬送してくださいということは言っている。また当院救急担当医師も救急隊の判断で連絡が来た際は断らないということを徹底している。なかでも1次救に診てもらおうという医師もいるのは事実だと思うので、できる限り医師会の先生が言っていることについては改善するようにします。

西原委員

- ・腹痛時に内科を紹介すると、何を疑うかと質問される。内科、外科、婦人科等考えられるが、そこを含めてお願いしているため、まずは受けてもらいたい。

米村委員

- ・開業医の先生方、救急センター、救急隊からの連絡については、何科であろうが当院で診なければ始まらない。ファーストタッチの医師が院内でつなぐようにしていかなければいけない。

高橋委員

- ・できれば何か問題が発生した場合は、このような会議の場で事後にというよりも、即時に連絡していただければ早く対応できます。

奈良委員

- ・救急患者の対応等について振り返りというような対応は取っていないのか。

米村委員

- ・救急の全ての患者に対しては行うことが困難である。困難症例等の検討については定期的に行っている。

#### 西原委員

- ・紹介患者の経過報告等について  
受診したことの受診確認報告以外に中間報告、最終報告をお願いしたい。  
最終報告が遅くなる場合に、中間報告を作成していただけるかどうか。

#### 米村委員

- ・複数の検査をしている患者さんがいた場合に、残りの検査結果が出れば最終報告できるが、その結果待ちの段階で中間報告を作成するのは難しいと思います。

#### 阿南委員長

- ・もし紹介した患者さんで経過を知りたい場合は、診療情報提供依頼書の様式により依頼をすれば情報提供がもらえるという方法もある。

#### 高橋委員

- ・電話で確認してもらうほうが、速く済む場合もある。

#### 奈良委員

- ・例えば手術をしたかどうかがわかればいい場合もあるのですか。

#### 西原委員

- ・中間報告前に市立病院から他病院へ紹介となってしまった場合に紹介元には中間報告もこない場合がある。

#### 米村委員

- ・診療所からの紹介患者さんが院内紹介となった場合には、診療所からの紹介患者さんであることが院内紹介先の医師が把握しきれないため、院内の紹介元に報告はされるが、診療所には、ファーストタッチの医師からの院内紹介した旨の結果のみを報告するしかない状況となっていると思われる。

#### 蕪木委員

- ・システムの当該患者さんが、診療所からの紹介患者さんとはわからないのか。

#### 米村委員

- ・システムのについても、患者さんの一つ一つの院内紹介の文書を確認しないと病診連携室では把握できない状況です。  
院内紹介したあとの報告についても、カルテを確認するか、システムで改めて対象患者さんを選択してみないと自動的にわからない状況となっている。

#### 奈良委員

- ・中間報告が来ないことは、ないということによいですか。

#### 米村委員

- ・中間報告が万が一忘れられていた場合は、病診から事務的に報告がされていないリストを作成し、各科に依頼され、報告がされるような仕組みになっています。

#### 高橋委員

- ・病診からの書類の送付については FAX で行いたいです。作業量が非常に多くなってきており、退院サマリ送付業務についても、FAX で対応させてもらいたいです。

#### 蕪木委員

- ・FAX で送ることについては問題ないが、FAX 番号を手入力しているとなると誤送信が心配です。

#### 高橋委員

- ・連携室で検討させていただきます。

#### 西原委員

- ・紹介先がもとの主治医と違う場合、もとの主治医に連絡をもらえないか。現実的には市立病院でもとの主治医を把握することが困難だと思いますができればいただきたい。

米村委員

- ・個人的にはわかる範囲で紹介元と、かかりつけ主治医に診療情報提供をさせてもらうようにはしているが、実際紹介された患者さんのかかりつけである主治医まで把握することが困難な場合もある。できるだけ対応は考えたいと思います。

西原委員

- ・もとの主治医が市立病院に診療情報提供依頼をすればなんとかやってもらえるということによいです。

米村委員

- ・原則は対応します。

西原委員

- ・返事の対応の内容については、必要十分で良い。

米村委員

- ・医局会のほうで原則の話をしておきます。以前にも医局会で高橋委員から周知したことはありますが、再度話をします。

米村委員

- ・こちらからのお願いですが、各医院個別の紹介状書式を利用されている中で、読めない紹介状もあるため、手書きでだめと言うことはないですがよろしくお願いします。

奈良委員

- ・富土地域で肝炎パスの様式を作成したのでご活用してください。PDF、ワードのデータでも必要であれば送らせていただきます。

米村委員

- ・この会の開催について今年度は1回の開催でしたが、来年度は年2回開催させていただく予定です。

阿南委員長

- ・以上をもちまして地域医療連携推進委員会を閉会します。

10 患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室 医療相談室 ・ 病棟
主として患者相談を行ったもの	遠藤 美和 遠藤 英里 高橋 弘典
患者相談件数	1, 468件 (実件数)
患者相談の概要	
経済的問題の解決・調整援助	119件
心理的・情緒的援助	1件
受診・受療援助	210件
高齢者退院援助	4,750件
生活環境上の援助	42件
社会資源の紹介・斡旋	395件
その他	52件
合計	5,569件

相談室年報

(平成23年度実績)

＜A. 個別援助＞

1 診療科別

診療科	相談室年報											計		
	内	外	小	外	整	脳	皮	泌	産	眼	耳		精	放
新	91	11	11	23	11	19	3	1	3	4	9	1	0	187
再	52	3	14	18	12	7	2	2	26	2	0	0	0	138
計	143	14	25	41	23	26	5	3	29	6	9	1	0	325
入院	444	110	18	123	307	206	8	15	18	7	25	0	0	1,281
再	1,470	356	5	271	1,017	693	30	52	36	0	33	0	0	3,963
計	1,914	466	23	394	1,324	899	38	67	54	7	58	0	0	5,244

2 援助の内容

相談種類	a. 情報の収集と提供					計
	新規	再来	計	b. 相談面接	c. 関係調整	
a. 経済的問題の解決・調整援助	67	52	119	3	62	119
b. 心理的・情緒的援助	0	1	1	0	1	1
c. 受診・受療援助	82	128	210	23	105	210
d. 高齢者退院援助	947	3,803	4,750	301	1,970	4,750
e. 生活環境上の援助	14	28	42	4	13	42
f. 社会資源の紹介・斡旋	321	74	395	9	30	395
g. その他	37	15	52	4	7	52
計	1,468	4,101	5,569	344	2,188	5,569

3 援助の方法

	a					計
	本人	家族	病院職員	関係機関	その他	
1. 面接	377	2,031	2,878	1,474	22	6,782
2. 電話	200	2,645	5,752	3,811	31	12,439
3. 文書	17	416	1,045	696	7	2,181
4. 訪問	3	4	9	6	0	22
計	597	5,096	9,684	5,987	60	21,424

4 紹介経路

	ケース数
1. 本人から	56
2. 家族から	135
3. 医師から	1,960
4. 看護師から	3,003
5. 病院職員から	149
6. 関係機関から	220
7. 他の医療機関から	46
8. 知人や他の患者から	0
9. ソーシャルワーカーの発見	0
計	5,569

＜B 個別援助以外の業務＞

業務	内容	相談時間合計	
		111969分	1866時間9分
院内業務	1. 常例的業務 特定疾患(52)小児慢性(8)身体障害(56) がん患者新報(154)再来(892) 養育医療(15)自立支援(1)結核公費(13) その他制度等(214) 2.Fカンファ(14)3.Aカンファ(44)4.Aカンファ(39)4Bカンファ(46)5.Aカンファ(35)嚙下カンファ(13)痛痛対策実践委員会(11)構え う回診(2)地域医療連携委員会(11)緩和ケア委員会 (11)ICT委員会(8) 3. 関係機関等との会議 富士圏域権利擁護ネットワーク会議(1)脳卒中地域連携 バス会議(3)大腸骨頸部骨折地域連携バス会議(3)富 士地域医療協議会(1)肝炎講習会(1)地域医療連携推 進委員会(1) 4. その他の地域活動 5. 学会・研究会等への 参加 6. 講義・実習関係など	1,405	234
地域活動	研究教育	10	0
研究教育	がん相談支援基礎研修(2)	2	0